

種山ヶ原は今 51

大正6年9月3日 賢治一行 伊手―種山ヶ原―人首

＜古歌葉のマサばあさんの「宮沢賢治」の自慢話＞

マサばあさんは、よく宮沢賢治との出会いを自慢げに話していたという。

約 100 年程前、宮沢賢治が大正 6 年(1917)江刺郡から依頼された地質調査のために江刺を訪れた時の話である。彼らは 8 月 30 日友人 3 人と江刺入りし、9 月 3 日伊手⇒種山ヶ原⇒人首の調査で

古歌葉を訪れた時、マサさんが人首川(古歌葉川)で洗濯をしていると、黒っぽいマントの様なものを羽織った若者達が上ってきたという。一行は盛岡農学校の宮沢賢治を中心とする調査隊。

その日は伊手の旅館を出、鶯峠を越えて古歌葉の部落にさしかかった時のことである。古歌葉には鉱山の入口がある。



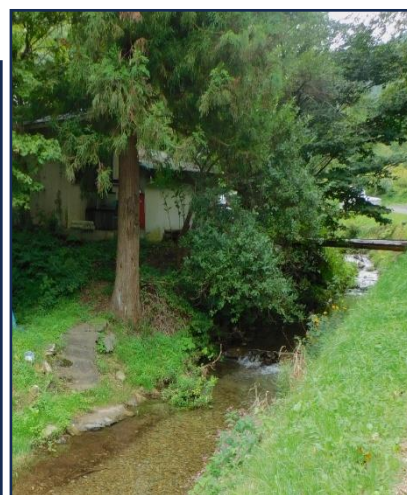
賢治は子どもの頃は通称「石っ子賢さん」と言われるぐらい石に関心があったという。当然この辺には色んな石があることも知っていた。川沿いの道を進むと、川で洗濯をしているマサさんを見つけて、駆け寄り、話しかけてきたという。

宮沢賢治 「盛岡農学校の宮沢賢治という者ですが、この辺に珍しい石はないですか？」

※盛岡高等農学校＝盛岡高等農林学校(現岩大)

マサばあさん 「わがんね。」

その後も色々色などのことを聞いてくるし、見たこともない服装で早く通り過ぎて行って欲しい。やがて、彼らは種山に向って行きました。



ところが、戦後人首出身の佐伯郁郎(本名 慎一)先生をはじめ、主に岩手県出身の文人たちが宮沢賢治の作品を世に広め、一躍有名になり、新聞等に掲載され始めました。

宮沢という苗字はこの辺にはないので、何故か覚えていて、「あの時の人のことだ！」マサばあさんは、あの日のことを思い出したのです。

その時からというもの、おばあさんにとって、この辺で宮沢賢治を知るたった一人の人間としての自慢となったのです。

マサバあさんはよく子供や孫に「そんな人だったらちゃんと教えてやればよかったな。」と後悔しながら、色々話してくれたとのことでした。

どんどん晴れ。

＜アメリカオニアザミがなぜ？＞

種山ヶ原は老若男女高原を愛する人たちがいっぱい訪れている。私達は「宮沢賢治のイーハトーヴ風景地・種山ヶ原」の整備活動をしています。ところが先日下調べに行ったところ、写真右のような草花に出会いました。

丈が1m以上あり、1cm位の鋭い棘がいっぱいのアザミにびっくり。

米里では今まで見たこともないアザミだけにそっとしてきました。後日草刈りに行った時に、繁殖を防ぐために焼いてきましたが・・・。

オオハンゴンソウの次は、アメリカオニアザミです。外来種 Off!

「ノハラアザミ」

「アメリカオニアザミ」



種山ヶ原の賢治の森はこれからノハラアザミでいっぱいになります。枯れてから刈ります。

こんなアザミの花もあります



天然記念物「カモシカ」市役所の人頑張っています！

秋の草刈りに向けて「賢治の森」に調査に行くと、東屋にカモシカが死んでいた。早速市の教育委員会歴史遺産課の朴沢さんに連絡すると、まもなく対応できるとのこと。会としても応援に行こうと菊池さんと田村さんに連絡すると、快く対応してくれた。教育委員会からは朴沢さんと中島さんが来てくれた。午後2時頃には作業を始めたが、10日以上経っているため臭いがひどい。仕事とはいえ天然記念物でもあり、体型を測定している。女性の朴沢さんにはかなり抵抗があったと思うが、黙々と処理をしていた。し終わると、朴沢さんと中島さんは火葬場に向って行った。生きていれば、このような動物を保護している盛岡の施設に輸送しなければならないらしい。いずれ大変な仕事だ。教育委員会の人達がこのようなことをしているとは世の中の人には知らないだろう。本当にお疲れ！彼らは仕事とはいえ素晴らしい！

その後星座の森から水を貰い、東屋を清めた。これまた2km遠い星座の森から4回運ぶことも大変でした。

カモシカは天然記念物。多分絶滅危惧種のために天然記念物になったと思う。確かに50年程前まで県北では、「薬草食べているから骨は切り傷等に効く」といって崖から落ちて死んだカモシカを土に埋め骨だけになった頃掘り出し、骨の一部を家庭薬としていた。骨を削って、切り傷に擦り付けている所を見たこともある。



アメダスは工事中<11月まで>



地元ではありがたくない動物の一つだ。我家も「につくきカモシカ君だ。」
去年も畑に入り、枝豆の葉が好きらしく、畑の半分は被害を受けている。
なぜこんなに増えたのだろうか？カモシカだけでない。熊、イノシシ、鹿が
山から里へ下りて来る。キジ・ヤマドリ・キジバト等も増えています。

山は杉など針葉樹だけになり、実のなる広葉樹が少なくなり、自然環境の
変化で山の中で暮らすことができなくなったからなのかもしれない。

国も、国有林を動物の住める自然林にする政策をとるべきだと思う。

<野生動物いろいろ> こうして見れば、かわいいが・・・

過疎地は野生王国になりそうです。



我家の畑に親子で入って枝豆の葉を



田植えを終えたばかりの田んぼに入り、早苗を



イノシシが田んぼに入ると米は臭くて食べられないとか

鹿とカラス共存 カラスは鹿につく虫やダニを



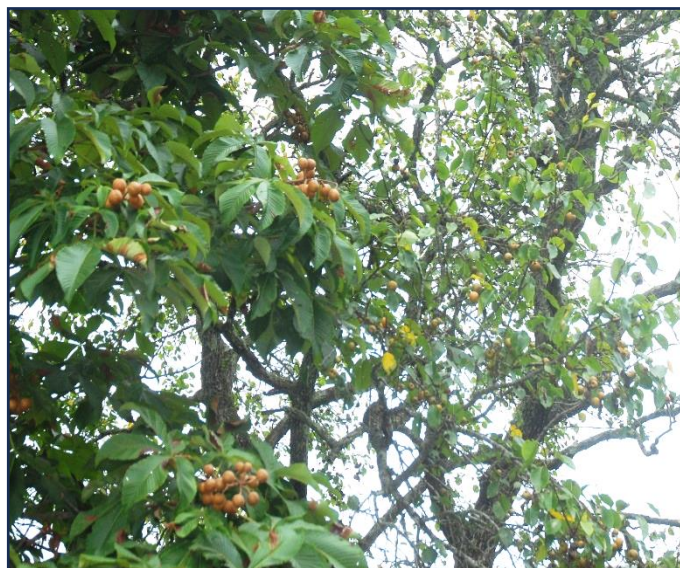
9月2日の種山ヶ原 雲に覆われて



栃の実、山梨の実が



風の又三郎も雲上に向って



物見山頂の側にあるアメダスが工事中
賢治の森から見た物見山



田瀬ダム：種山から北東に向うと猿ヶ石
川があり、その川を堰き止めてできたダム

